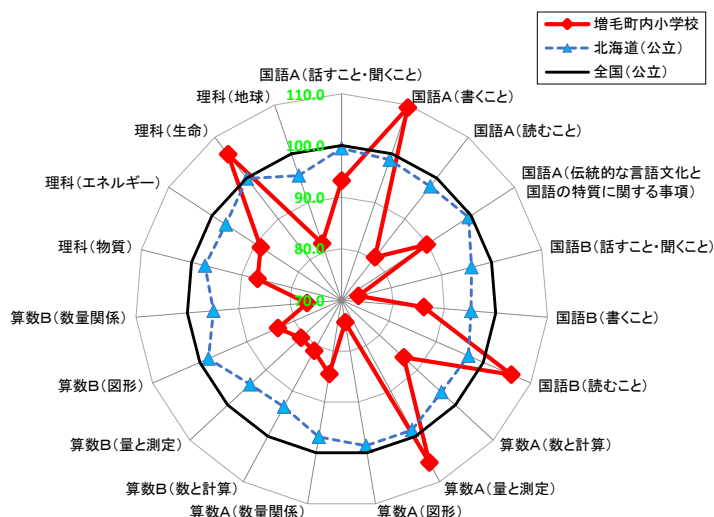


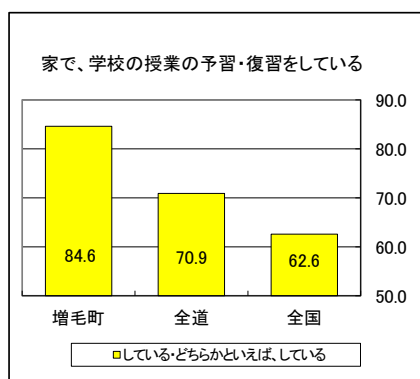
■増毛町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:26人)

【教科全体の状況】

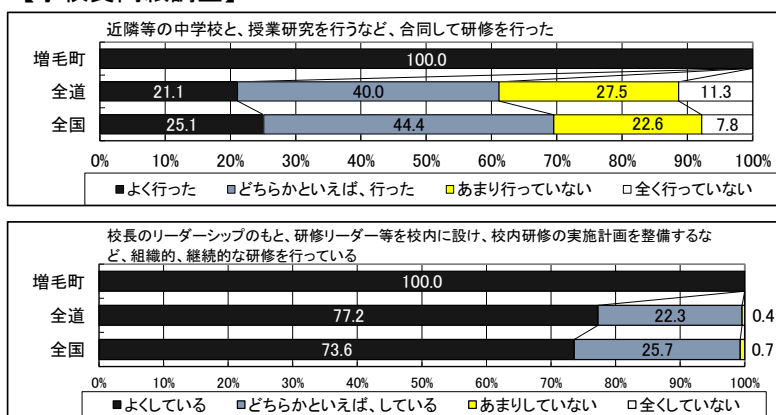
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「書くこと」、Bでは、「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「生命」で全国を上回っている。	○ 「家庭学習の手引き」等を活用して家庭における学習習慣の確立を目指した取組を充実したことにより、学校の授業の予習・復習をする児童の割合が全国及び全道を上回り、学習内容の定着が図られ、学力の向上につながったと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で、学校の授業の予習・復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 校内研修の充実のもと、町内の中学校の教職員との合同研修を通して学習内容の系統性を踏まえた指導の改善・充実を図ったことにより、教職員の指導力が育成され、授業改善につながったと考えられる。
学校質問紙	○ 近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った。 ○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている。	

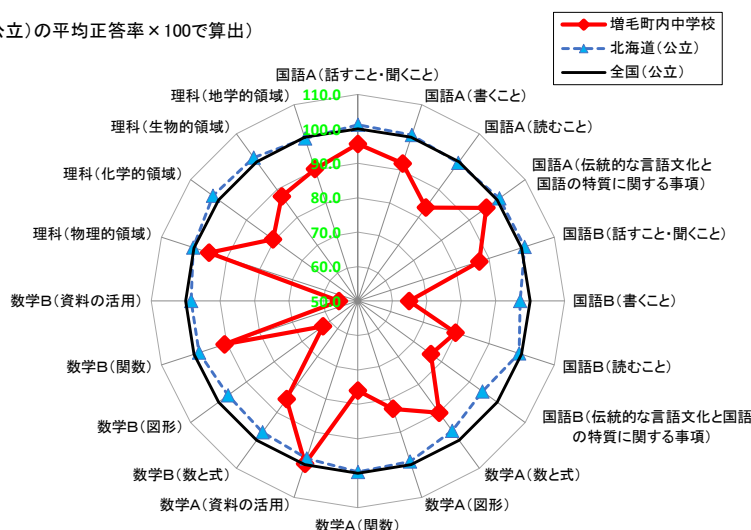
【増毛町の学力向上策】

- ◎ 「小中連携教育推進委員会」による9年間を見通した切れ目のない学校教育の充実
- ◎ 加配を活用したT・Tによる指導や習熟度別指導の推進
- ◎ 学習支援員による個別の学習支援の充実
- ◎ 保護者との協力による「家庭学習の手引き」等を活用した家庭における学習習慣の確立

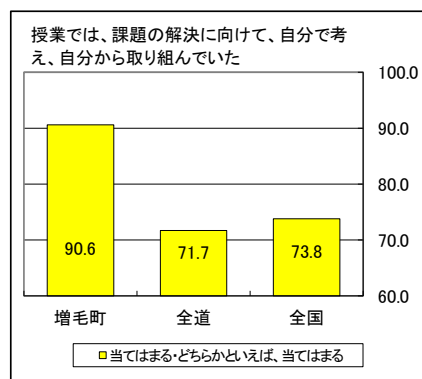
■増毛町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:32人)

【教科全体の状況】

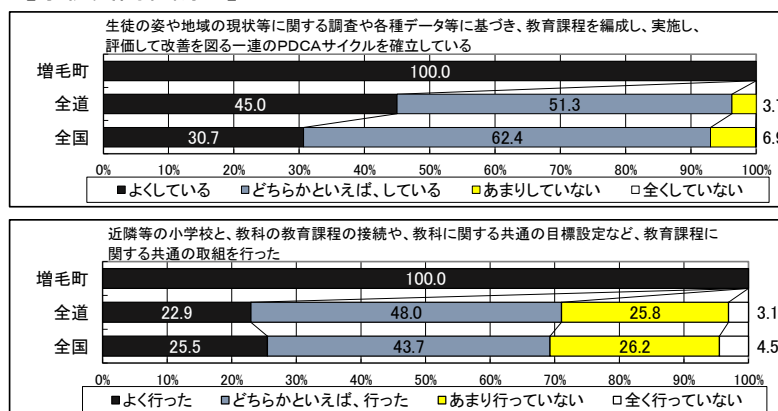
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学Aでは、「資料の活用」で全国とほぼ同様になっている。 ○ 理科では、「物理的領域」で全国に最も近くなっている。	○ 授業において、生徒の興味や関心を高めたり、生徒が課題意識をもって学習に取り組んだりするための指導の工夫を行ったことにより、課題解決能力が育成され、学力の向上につながっていると考えられる。
生徒質問紙	○ 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 各種データ等に基づいたPDCAサイクルを確立するとともに、「小中連携教育推進委員会」において、小・中学校が連携して教育課程を見直す取組を推進したことにより、義務教育9年間を見通した教育活動の質の向上につながったと考えられる。
学校質問紙	○ 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。 ○ 近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った。	

【増毛町の学力向上策】

- ◎ 「小中連携教育推進委員会」による9年間を見通した切れ目のない学校教育の充実
- ◎ 加配を活用したT・Tによる指導や習熟度別指導の推進
- ◎ 学習支援員による個別の学習支援の充実
- ◎ 保護者との協力による「家庭学習の手引き」等を活用した家庭における学習習慣の確立